

---

# 大川水系河川整備計画（原案）に対する 住民意見と対応方針

---

1. 住民意見の聴取について
2. 河川整備計画に関する意見について
3. 洪水リスク開示に関する意見と回答

# 1. 住民意見の聴取について

## 整備計画の縦覧・意見募集、住民説明会の開催の周知（3月上旬）

➤ 説明会の案内ビラを下孝子地区など沿川9地区の全706戸に配布

(表面)

**大川水系河川整備計画(原案)についての説明会 開催のお知らせ**

大川は岬町の札立山を源流として、海峯ダムを経て孝子地区を流れ、深日地区で大塚川に注ぐ二級河川です。

平成24年3月8日(木)(19時~20時30分)  
10日(土)(19時~20時30分)

岬町役場 2階第1会議室  
(先着順:定員60名)  
※2日とも同じ内容で実施しますので、ご都合の良い方にお越しください。

南海橋下流(岬町深日)  
通橋ダム(岬町孝子)  
尾和橋上流(岬町深日)  
孝子橋下流(岬町孝子)

**対象となる方**

「大川水系河川整備計画(案)」に関心のある方などなたでも参加可能です。

**参加方法**

事前連絡の必要はありません。

**説明会の内容と目的**

大阪府では、大川水系に対する概ね30年間の整備内容を定める「大川水系河川整備計画」を検討しています。  
説明会では、計画内容を説明し、住民のみなさまから意見をいただくことを目的としています。いただいた意見を参考にし、検討した上で整備計画を策定していきます。

**説明会に参加できない方は**

- 大川水系河川整備計画(原案)の内容を知りたい
- ホームページ

大阪府都市整備部河川室 [http://www.pref.osaka.jp/kasenseibi/keikaku/ohkawa\\_ikenbosyu.html](http://www.pref.osaka.jp/kasenseibi/keikaku/ohkawa_ikenbosyu.html)

- 資料閲覧場所 3月2日(金)から3月16日(金)まで、関連資料をみることができます  
閲覧期間中は、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時半まで資料をみるることができます。

- 大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
- 岬町役場(都市整備部土木下水道課)
- 大阪府河川室(大阪府庁別館4階)
- 大阪府岸和田土木事務所(泉南府民センター2階)
- 大阪府岸和田土木事務所尾崎出張所

**意見を言いたい**

- メール、FAX、お手紙でも結構です。 意見のメ切りは3月16日です。(手紙の場合は3月16日の消印有効、メール、FAXは3月16日23:59まで)
- 提出先・問合せ先

大阪府岸和田土木事務所 尾崎出張所 維持・河川グループ  
〒599-0203 大阪府岸南市黒田52-3  
TEL 072-471-0351 FAX 072-471-4000  
E-mail: kishiwadadoboku-g21@box.pref.osaka.lg.jp

地域別にご意見を把握したいと考えているため、お住まいの地区名、居住年数の明記をお願いします。

大阪府岸和田土木事務所尾崎出張所

(裏面)

大川水系の『今後』の姿を描く  
**大川水系河川整備計画(原案)の概要**

**現状と課題**

大川では、これまで洪水に対しては昭南橋から南海橋の下流までの区間で築堤、掘削等の改修工事が行われてきました。しかし、依然として時間雨量50ミリ程度の降雨でも溢水の可能性のある箇所が残っており、平成21年、平成22年にも豪雨による溢水が発生しました。さらに、近年は想定を超える豪雨による水害への備えも必要となっています。  
高潮に対しては、これから堤防の整備を進めてきましたが、堤防高が不足する箇所がまだ多く残っています。  
さらに、この区間では近い将来発生が懸念されている東南海・南海地震等への対策として、高潮対策とあわせて早急な堤防の耐震補強が必要となっています。

**整備期間中(30年間)の取り組み**

**【整備内容】**  
洪水対策については、河床の掘削と川幅の拡幅により流下能力の拡大を図り、時間50ミリ程度の降雨が安全に流下できるよう整備します。  
高潮対策については、河口から昭南橋下流の区間で、堤防の整備を行うとともに、近い将来発生が懸念されている東南海・南海地震等への対策として、堤防の耐震補強もあわせて進めます。  
これらの実施にあたっては、河川の特性や周辺状況や踏まえ、動植物の生息環境の保全や親水性との調和などに配慮し、第二版河川計画とも調整しながら、地域住民の意見等を十分に踏まえて整備に努めます。

**【防災対策】**  
河川氾濫や浸水に対しては、大阪府は岬町や地域のみならず連携し、みなさまが安全・確信に避難できるように以下の防災対策を実施します。  
① 現状での河川氾濫・浸水による危険性を示した洪水リスク表示図など、避難行動に必要な情報の提供、伝達に取り組みます。  
② 住民自らが行動できる体制づくりと避難訓練を実施します。

**ご意見記入欄**

お住まいの地区名 \_\_\_\_\_ 居住年数 \_\_\_\_\_ 年  
地区別にご意見を把握したいと考えているため、お住まいの地区名、居住年数をご記入いただけますようお願いいたします。

送付先 \_\_\_\_\_ FAX 072-471-4000  
大阪府岸和田土木事務所尾崎出張所

# 1. 住民意見の聴取について

## 図書の縦覧（3月2日から3月16日までの15日間）

### ホームページ・各縦覧場所での図書縦覧

#### <縦覧図書>

- ・大川水系河川整備計画（原案） 本編
- ・大川水系河川整備計画（原案） 参考資料

#### 【電子データの掲載】

- ◆ 大阪府都市整備部河川室ホームページ
- ◆ 岬町役場ホームページ(大阪府へリンク)

#### 【図書の縦覧】

- ◆ 大阪府府政情報センター
- ◆ 大阪府都市整備部河川室
- ◆ 大阪府岸和田土木事務所
- ◆ 大阪府岸和田土木事務所 尾崎出張所
- ◆ 岬町役場
- ◆ 岬の歴史館(岬町立孝子小学校)

### 住民説明会・メール・FAX・郵送による意見聴取

### 大阪府ホームページ

ホーム > 都市計画・都市整備 > 河川・ダム・砂防 > 河川の計画 > 大川水系河川整備計画(原案)に対する府民意見の募集について

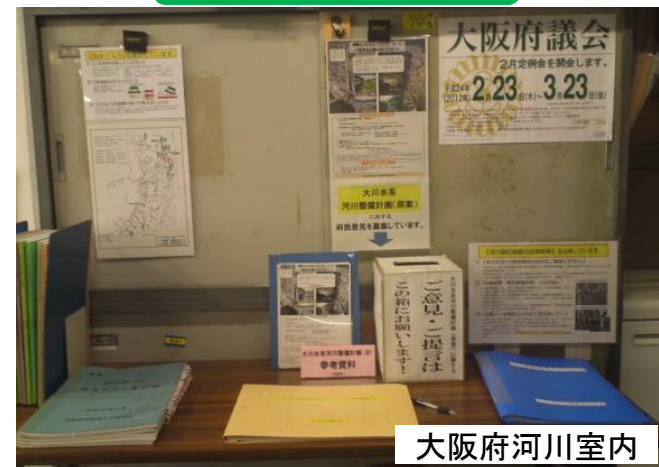
#### 大川水系河川整備計画(原案)に対する府民意見の募集について

大川水系河川整備計画(原案)に対する府民意見の募集について

大阪府では、泉南郡明川に流域を持つ二級河川大川において、今後、概ね30年間に実施する整備内容を定めた大川水系河川整備計画の策定に向け検討を進めております。計画策定にあたり、より良い計画とするため、府民からのご意見を聞かせていただきたく大川水系河川整備計画(原案)本編及び参考資料を縦覧します。

- 募集対象項目  
大川水系河川整備計画(原案) <本編> <参考資料>
- 募集期間  
平成24年3月2日金曜日 から 平成24年3月16日金曜日 まで
- 閲覧方法  
(1)大阪府都市整備部河川室の下記ホームページに掲載しています。  
(アドレス [http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenisebi/kekaku/chikawa\\_genan.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenisebi/kekaku/chikawa_genan.html))  
(2)以下の場所で資料を備え付けています。

### 図書の縦覧状況



# 1. 住民意見の聴取について

## 住民説明会

と き：平成24年3月8日（木）19:00～20:30  
10日（土）19:00～20:30

ところ：岬町役場 2階 第1会議室

住民説明会参加人数 計13名  
(岬町在住13名)

## 説明会開催状況



## 意見募集結果

住民説明会におけるご意見・ご質問… 28件

FAX・意見箱 … 7件（5通）

## 住民意見の概要

寄せられた35件のご意見・ご質問を類似項目ごとに17項目に整理

### (1) 河川整備計画に関すること（14項目）

- ・河川整備計画の目標に関する事項
- ・河川整備の実施に関する事項
- ・その他河川整備を総合的に行うために必要な事項など

➡ 整備計画（原案）への  
反映を検討

### (2) 洪水リスク開示に関すること（3項目）

- ・洪水リスクの周知に関すること
- ・河川情報の提供に関すること
- ・避難体制に関すること など

➡ 今後の地域連携等の  
取組みに生かす

## 2. 河川整備計画に関する意見について

### 河川整備計画に関する意見について

項目	番号	意見の概要	意見への対応	聴取方法	反映有無
河川整備計画の目標に関する事項	1	大川の洪水対策をしても、それ以前に大川に流入する水路で水があふれている。一体的に治水対策を考えてほしい。	岬町の管理する水路についてはこの計画では位置づけることができませんが、岬町と連携した治水対策に努めていきます。	説明会	無
	2	宮下橋の下流に住んでおり、以前に補修の要望書を出したが、今回の整備区間に入っていない。入れてもらえないのか。	整備対象区間とは流下能力が不足している区間に対して設定したものであり、維持管理については二級河川指定区間全体で実施していきます。 整備計画（原案）においては整備対象区間しか明示していなかったため、計画対象区間が二級河川指定区間全体であることを追記します。  (修正案) 本編P. 10 4. 河川整備計画の計画対象区間 <u>大川水系のうち、本計画において整備の対象とする区間は以下のとおりです二級河川指定区間（河口～孝子橋）とします。その内、洪水対策及び高潮・耐震対策を実施する区間は表1.1および図1.2のとおりです。</u>	説明会	有
	3	南海橋周辺は近年もたびたび冠水しており、台風のために地元は不安な思いをしている。今後30年と言わず、早期の改修をお願いしたい。	河川整備の時期については、大阪府下の全154河川の氾濫シミュレーション結果に基づいて決定していきますので、大川においては本編P. 10に記載のとおり計画策定から概ね30年で改修をおこなっていきます。	説明会	無
	4	南海橋周辺は今は田んぼばかりだが、家屋が建ち始めている。20-30年後には宅地になるとして危険度を判定しないといけないのでは。	望ましい土地利用のあり方については、本編P. 16に記載のとおり別途検討していきます。具体的には、浸水想定区域において新たに家屋を建てられる場合に、宅盤を高くしていただくなどの協力を呼び掛けていきます。	説明会	無 5

## 2. 河川整備計画に関する意見について

### 河川整備計画に関する意見について

項目	番号	意見の概要	意見への対応	聴取方法	反映有無
河川整備の実施に関する事項	5	ビラに掲載されている断面図では、取水堰の高さが合わない。取水堰が高い位置にあり、そこであふれそうになる。取水堰の改築をするのか。	取水堰については必要に応じて改修を行うものとし、本編P. 10に記載のとおり、農業関係者と調整しつつ上下流の連続性の確保に努めていきます。	説明会	無
	6	孝子橋下流附近は住宅が近接しており、川幅を広げる余裕（余地）がないため、岩石、土砂を取り除く以外に方法はないものと思われる。	将来の改修で沿川の用地買収が生じるかについては、今後詳細な設計を行っていく中で、効果的・効率的な手法を検討していきます。	F A X	無
	7	ダムの点検・補修はなされるのか。	ダムの維持管理については、本編P. 15に記載のとおり、ダム管理者である府環境農林水産部とともに、将来にわたっても適切に治水効果が発揮されるよう努めていきます。	説明会	無

## 2. 河川整備計画に関する意見について

### 河川整備計画に関する意見について

項目	番号	意見の概要	意見への対応	聴取方法	反映有無
河川整備の実施に関する事項	8	計画の断面が常に確保出来るのか。土砂が溜まると河底を掘る必要があるため、整備計画に加味してほしい。	堆積土砂と植生の繁茂については本編P. 15に記載のとおり、堆積・繁茂状況を定期的に調査し、阻害率の高い区間を把握することと併せ、地先の危険度などを考慮して優先順位を定め、計画的に撤去を行います。	説明会	無
	9	孝子橋下流付近は川幅が狭く、かつ今まで大雨等により岩石が流れてきて、そこに土砂が溜まってきている状況である。今後大雨等で川が増水した場合、川から水が溢れ附近住宅が浸水するおそれが非常に大きいものと思われる。上記理由により早期（雨期に入る前）に岩石、土砂を取り除いてくださるよう要望します。		意見箱	無
	10	洪水対策の一つである河川の拡幅には時間がかかるとは思われますが、堆積した土砂と繁茂した植物の撤去であれば比較的短時間で可能と思われます。さだかな記憶ではありませんが、宮下橋周辺から南海橋までの掘削工事はここ10年行われていないと記憶しています。宮下橋周辺から南海橋までの土砂、植物の早期撤去を要望します。		意見箱	無

## 2. 河川整備計画に関する意見について

### 河川整備計画に関する意見について

項目	番号	意見の概要	意見への対応	聴取方法	反映有無
その他河川整備を総合的に行うために必要な事項	11	避難すると言っても、目の前の道路が冠水して避難できないことも考えられる。	<p>今後は、台風12号での和歌山県・奈良県の事例も踏まえ、岬町とも連携の上、住民の皆さんの避難行動につながる地域単位でのワークショップや避難訓練の実施などの「逃げる」施策を推進します。</p> <p>整備計画（原案）においても、いただいたご意見を追記します。</p>	説明会	有
	12	過去の洪水被害については、地元の方の体験談をよく聞いてほしい。	<p>（修正案） 本編P. 16</p> <p>具体的には、様々な降雨による地先（家屋など）の危険度をわかりやすく周知する洪水リスク表示図の作成・公表を行っており、地域単位でのワークショップ等によって地域住民に周知する<u>とともに、過去の災害実績や避難経路の確認などを行う</u>ことで、洪水だけでなく土砂災害等の地域特有の災害リスクを踏まえ住民が自ら行動できるきめ細かな避難体制づくりに取り組めます。</p>	説明会	有

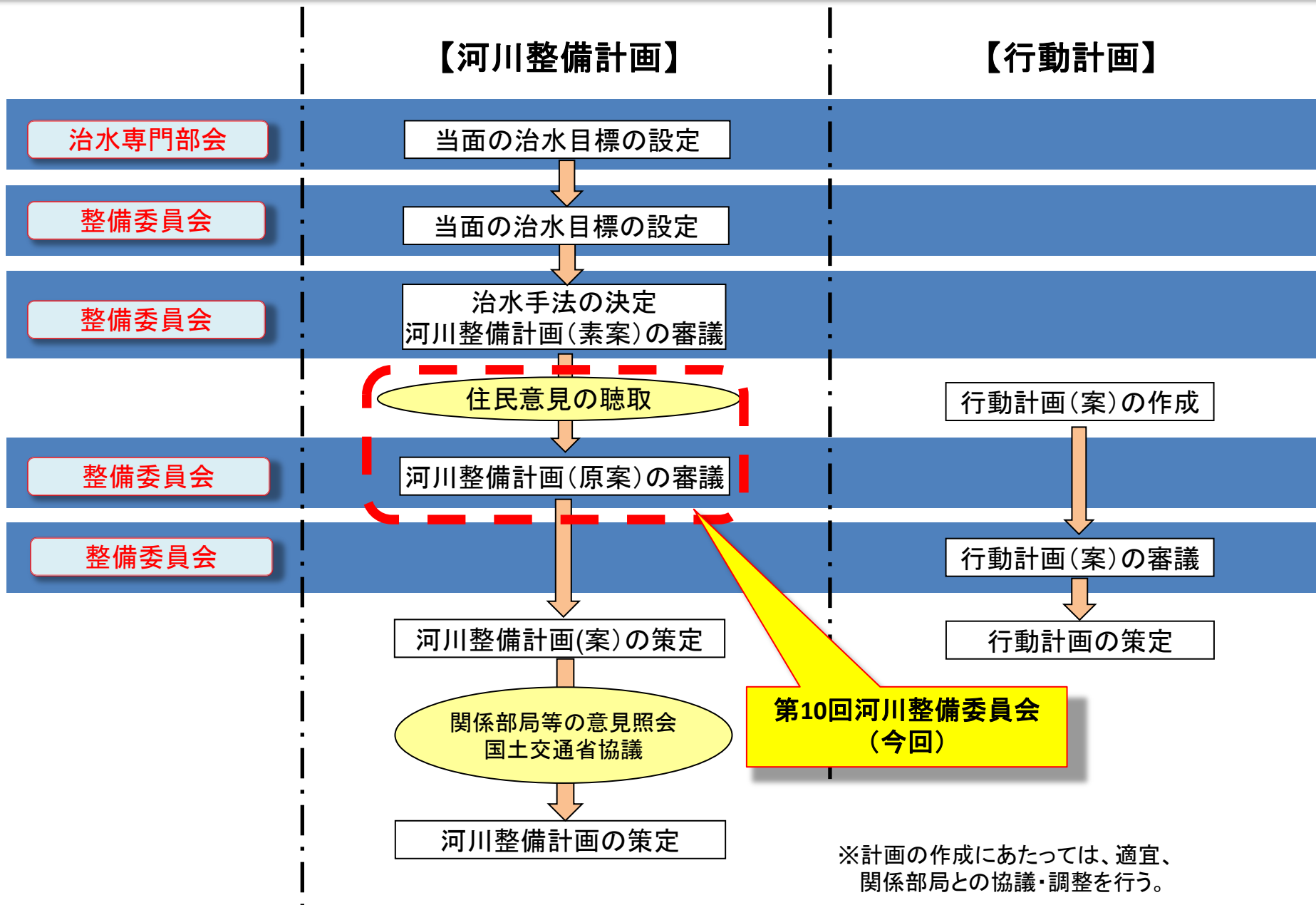


## 2. 河川整備計画に関する意見について

### その他の意見について

項目	番号	意見の概要	回 答	聴取方法
計画降雨に関する事	13	<p>昨年台風12号では和歌山でどれだけの雨量が降ったのか。それが大川流域で降ることではないのか。</p>	<p>3日間で累計1,300ミリ程度の降雨が記録されています。今回被災を受けた和歌山県や奈良県などの紀伊山地では年間降雨量が3,500ミリを超える箇所があるなど日本でも有数の雨の多い地域である一方、大阪府の年間降雨量は1,300ミリ程度です。</p>	説明会
	14	<p>昨年台風12号で和歌山で1,300ミリが降っており、今回計画の80ミリも50ミリも桁が違う。もっと大きな計画規模を検討すべきではないか。</p>	<p>1,300ミリというのはあくまでも累積雨量です。また、降雨には地域特性があり、和歌山や奈良と岬町では同じ降雨量でもその発生確率が異なります。大阪府の将来目標は100年に1回発生する降雨としていますが、河川整備計画の策定の際には、最新の雨量データも考慮しています。</p> <p>計画を上回る降雨が発生した場合であっても、施設の保全・整備で対応するには限界があることから、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、「逃げる」「凌ぐ」施策を組み合わせ対応していきます。</p>	説明会

# 河川整備計画・建設事業評価の審議の流れ



### 3. 洪水リスク開示に関する意見と回答

番号	意見の概要	回 答	聴取方法
1	洪水リスクの説明は孝子地区の住民にとっては極めて重要なので、洪水リスクの説明会を「孝子小学校の講堂」で別途実施していただきたい。	洪水リスクに関する説明会については4月以降に別途開催いたします。また、孝子地区の方にも河川整備計画（原案）を見ていただきやすくするため、図書縦覧場所に岬の歴史館（孝子小学校）を追加いたします。	F A X
2	インターネットで雨量や水位の情報が見られるということだが、インターネットを使っていない人も多い。岬町では災害情報が個人に伝わるような体制をとっているのか。	消防団で危険個所を把握しており、大雨のときにはパトロール、土のう積み等の対応をしています。（岬町）	説明会
3	岬町では、事前に危険個所のマップや体制表を作り、個人に情報が伝わるような体制作りをお願いしたい。	平成23年3月策定の「岬町避難勧告等の判断・伝達マニュアル」に基づき適切に避難行動を促します。（岬町）	説明会